

社会的な（社会的事象の）見方・考え方を働かせる

社会的な（社会的事象の）見方・考え方とは

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想したりする際の「視点や方法（考え方）」

<小学校社会科> 社会的事象の見方・考え方

社会的事象を、

位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりする



<中学校社会科> 地理的な見方・考え方

社会的事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付ける

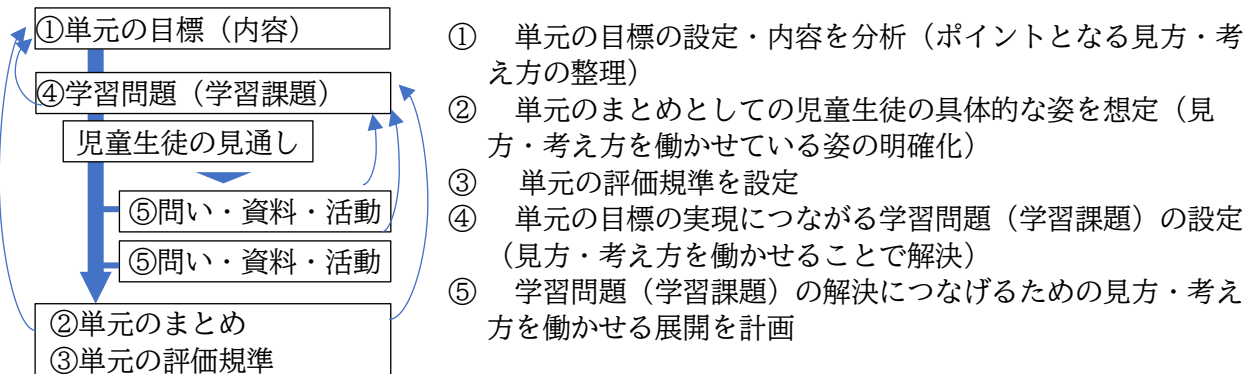
<中学校社会科> 歴史的な見方・考え方

社会的事象を時期、推移などに着目して捉え類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付ける

<中学校社会科> 現代社会の見方・考え方

社会的事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉えよりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付ける

ポイント1 社会的な見方・考え方を働かせられる単元の指導計画を作成する



ポイント2 社会的な見方・考え方を働かせるための「問い」を生む

- ・どのような場所にあるか。どのように広がっているか。〔分布、地域、範囲（位置や空間的な広がり）〕
- ・なぜ始まったのか。どのように変わってきたのか。〔起源、変化、継承（時期や時間の経過）〕
- ・どのようなつながりがあるか。なぜこのような協力が必要か。〔工夫、関わり協力（事象や人々の相互関係）〕
- ・どのような違いや共通点があるか。〔比較・分類・総合〕
- ・どのような役割を果たしているか。〔地域の人々や国民の生活と関連付け〕

（参考「小（中）学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」）

ポイント3 社会的な見方・考え方が表出する児童生徒の様相を見取る

「社会的な見方・考え方が表出する様相」

- 事実を具体化している
- 事実を比較・関連・総合している
- 人物の思いや願い、努力や工夫を考えている
- 事実を自分との関わりで考えている
- 事実を一般化・概念化している
- 事実を転用・応用している

「社会的な見方・考え方の見取り方」

- 根拠立てて話しているか
- 具体的に話しているか
- 自分の考えや判断したことを話しているか
- 他の児童生徒の考えや判断と違いはあるか
- 自らの社会認識を深めているか